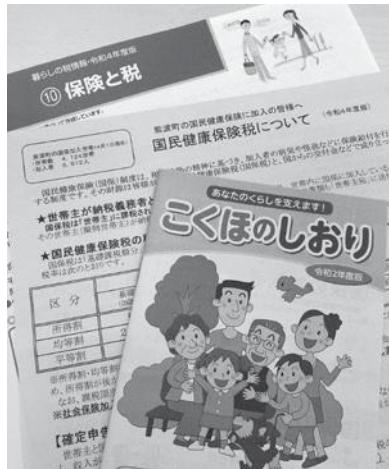




ほそかわけいいち
細川惠一 議員



健康第一！国保は大切です

国民健康保険

実態の把握に努めよ

答

制度の安定運営を進めていく

問
被保険者は、年金生活や無職の加入者が多く、国保税の負担が大きい。実態を把握しているか。

町長
國民健康保険は、他の健康保険と比較し、被保険者の平均所得が低く、一人当たりの医療費が最も高いという特性がある。国民皆保険の根幹として、国保制度の安定運営を進めていく。

問
国保運営方針では、保険税水準の統一が示されている。国保税の値上げにつながると考えるが見解は。

町長
県内市町村は、保険者の規模、保険税水準に隔たりがある。統一には多くの議論が必要であり、もたらす影響について検証しながら議論を深めていく。

町長
令和4年度より未就学児を対象に均等割を5割軽減とする制度改正が行われた。全国的に均等割軽減の年齢引き上げが広がっているが、町の考えは、慎重に考えるべきである。制度の安定的な運営を図るとともに、子育て支援制度の拡充が推進されるよう、機会を捉えて国などに要望していく。

問
被保険者は、年金生活や無職の加入者が多く、国保税の負担が大きい。実態を把握しているか。

町長
國民健康保険は、他の健康保険と比較し、被保険者の平均所得が低く、一人当たりの医療費が最も高いという特性がある。国民皆保険の根幹として、国保制度の安定運営を進めていく。

問
農業支援
生産コストの急騰に対応するため、国、県、関係機関などへの要望は進められている

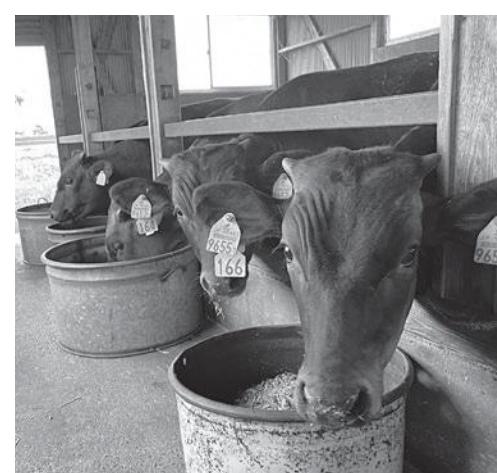
コスト急騰に補填すべき

積極的な情報発信を実施

町長
安心して農畜産物の増産に励めるよう、生産者と消費者、加工・流通など、町と連携し進める必要があると考えるがどうか。

農政課長
常に連絡を取り合い、各種制度、支援について、協議をしていく。農業振興地域整備計画を策定し、みどりの食料戦略に取り組み、持続可能な農業について検討している。

町長
第一次食育・地産地消推進計画を策



育ってくれてありがとう モオ～



ひきこもり
支援

伴走型で長期支援すべき

答 相談支援体制を継続する

おいかわ
及川ひとみ 議員

町長 ひきこもりについて実態を把握しているか。
平成30年に民生委員にアンケート調査を行い、ひきこもりと思われる方が30人把握された。精神保健相談や保健師の地区活動において該当者の把握に努めている。

問 相談体制、支援など取り組みは。

専門的な相談対応を行っている県の保健所

町長 や、ひきこもり支援センター、NPO団体など連携を図っている。
ひきこもりは、当事者や家族の考え方により相談に至らない場合も多く、実態の把握が困難である。今後も相談支援体制を継続する。困ったことを感じているときは一人で悩まず相談することを呼び掛けるなど、環境づくりに取り組んでいく。

問 長期の支援についての考えは。

町長 小中学校のトイレを洋式に改修する考えは。
教育長 平成22年度から現在まで、学校の老朽化を踏まえながらトイレの改修を実施してきた。改修未実施の学校については、計画的に整備を進めていく。

問 女子トイレが混み合う状況がある。トイレを増設すべきではないか。

教育長 学校では混雑の緩和のため、他学年フロアや屋内運動場のトイレ開放、学級・学年の時程をずらすなど、臨機応変に児童生徒に寄り添った対応に努めている。既存の和式便器を洋式化する改修工



ひきこもりで悩んでいる皆様へ

岩手県ひきこもり支援センター
TEL 019-629-9617

1人で悩まず、まずはご相談下さい

岩手県ひきこもり支援センター
TEL 019-629-9617

教育環境

安全安心な学校生活を

答 充実に尽力していく



すべての学校に快適な洋式トイレを😊

事を計画的に実施していく。
学校給食に関する課題は、老朽化に伴う学校給食センターの施設整備と捉えている。今後、建設に向けては、就学援助制度の活用を促進し支援に努めていく。

教育長 町の優先課題は、老朽化に伴う学校給食センターの施設整備と捉えている。今後、建設に向けては、就学援助制度の活用を促進し支援に努めていく。



議会だより



No.205 令和5年7月12日発行

